

高野新聞

Vol.94



たかの
高野 たけし
無所属 45歳

逗子市議会議員（5期）

- ・市議会議員
- ・逗子市観光協会 理事
- ・全国市議会議長会 社会文教委員

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

平成30年第3回定例会において、平成29年度の決算報告がありました。

昨年度は財政対策本部を設置し一部事業の執行を停止した他、国からの交付金も増収となったことから、平成28年度決算と比べ実質収支額は大幅に好転しました。しかしながら、財政の弾力性を示す経常収支比率の値は依然高く、引き続き効率的な財政運営が求められることは言うまでもありません。

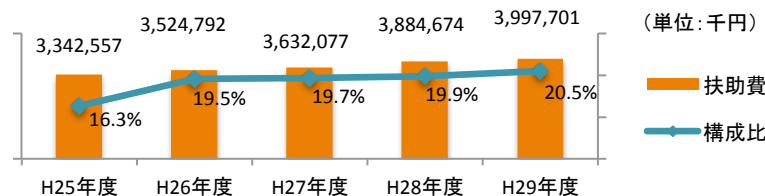
【財務比率の推移】

	実質収支比率	経常収支比率	公債費比率	財政力指数
平成29年度	6.8%	97.7%	9.4%	0.871
平成28年度	3.9%	101.5%	10.4%	0.872
平成27年度	8.9%	96.4%	7.5%	0.864

実質収支比率：標準財政規模に対する割合。
一般的には3～5%が望ましいとされている。
経常収支比率：経常一般財源に対する経常的経費の割合。
一般的には70～80%が望ましいとされている。
公債費比率：経常一般財源に占める公債費の一般財源所要額の比率。
一般的には10%以内が望ましいとされている。
財政力指数：財政上の能力を示す指数。
この指数が1を超えるほど財源に余裕がある。

また、社会保障費に充てられる扶助費の増加傾向を考えると、生産年齢人口層の転入促進が歳出バランスを維持する大きなカギになると考えます。

【扶助費の推移と一般会計に占める割合】



政治資金の残り あと23,702円

(7/1～9/30の内訳)

支出…ポスター掲示用両面テープ 2,401円

平成29年度の決算報告を受け、私の方からは以下の点について行政当局に提言したところです。

◆広域連携で事業の効率化

今後効率的な事業運営を行っていく上で、自治体間連携の促進は欠かせないものと考えています。現在も、葉山町とゴミ処理、一次救急の分野で連携を図っていますが、こうした取り組みを他の事業にも拡大することで、歳出を抑えながらも住民サービスを維持していくことが可能になります。

そこで、消防や災害対策、中学校給食など、広域で行うことができる事業においてはその方策を模索するとともに、すでに1市1町で行っている連携事業においてもよりスケールメリットが得られる可能性(連携自治体の拡大など)を検討するよう市長に申し入れたところです。

◆施設整備は計画的に

学校などの教育施設を始め、多くの公共施設で老朽化が進んでいます(市内119施設の内、59施設が建築後30年以上経過)。現在の財政状況を鑑み、多額の予算が必要となる大規模修繕や建て替えなどについての計画策定と、併せて公共施設の再配置について検証するよう行政当局に求めました。

◆市民ニーズを捉えた予算編成を!!

財政状況の悪化を受け今年度は大幅な事業の見直しが行われましたが、好転の兆しが見えてきた今、子どもたちの安全を守る小学校登下校時の交通整理員(廃止)や成長をサポートするフレスク運営(縮小)、さらに市民ニーズの高い図書館運営(開館時間短縮)や高齢者センターの浴場施設(休止)などは削減前の事業規模に戻すべきと思っています。もちろん、予算が潤沢になったわけではないので毎年度事業の見直しは必須ですが、各事業の重要性をしっかりと見極めた判断が今後の市政運営において最も大切であると考えています。

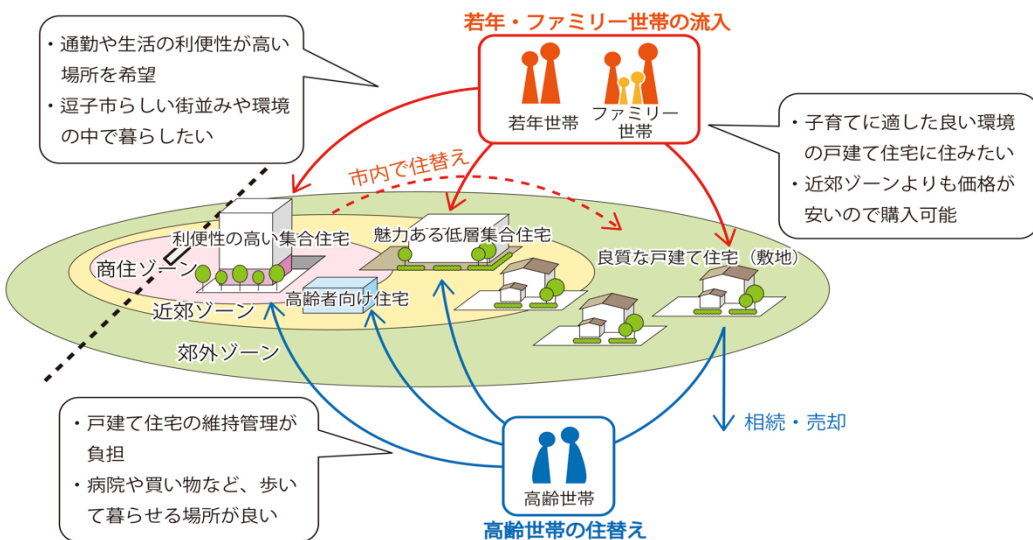
まちの将来設計 ～住環境形成計画～

現在、逗子市ではこれからの人口減少社会を見据え、人口維持、及び生産年齢人口層の流入を目的の一つとした「住環境形成計画」の検討がなされています。

本市の持ち家率は78.8%(神奈川県平均60.5%)、そのうち戸建て率は68.4%(神奈川県平均43.0%)となっており、市内への定住促進を促すためにも、各年齢層がそれぞれの生活スタイルにあった住戸に住むことができるようフォローしていくことが計画策定の狙いだそうです。そのため、市内の各地域を商住(にぎわい)ゾーン、海浜(おもむき)ゾーン、近郊(まちなか)ゾーン、郊外(うるおい)ゾーンの4つに分類し、それぞれの特性にあったまちづくり方針を定め、その実現に向けた取り組みを行っていく内容とするそうです。

現段階での計画案を見る限り将来像を見据えたものになっているものの、郊外ゾーンの交通網の整備や各ゾーンにおける緩和と規制のバランスなどについては、さらなる検討が必要であると感じたところです。また、本市の空き家率9.4%(平成25年度実施の住宅土地統計調査)を鑑み、空き家対策も並行して進めていくべきものと考えます。

来年3月末の策定を目途として今後も協議していくとのことですので、引き続き多くの声に耳を傾け、魅力あるまちづくりを推進する計画にさせていただくことを望むものです。



どーなっているの？

市民の皆様から頂いたご意見・ご要望にお答えするコーナーです。

池子の森自然公園では、緑地エリアが開園される土曜・日曜・祝日に限り久木側の出入り口が開放されますが、車椅子やベビーカーを押しての通行ができるよう整備してほしい。

これまでは池子ゲートからしか中に入ることができなかったため、特に市の西側地域に住まわれている方々からは久木側出入り口の新設を喜ぶ声も聞こえてきております。しかしながら、現地を実際歩いてみると途中から未舗装で起伏があるため、車椅子やベビーカーを押しての通行だけでなく、小さいお子さんや高齢者の歩行においても大変であることがわかります。こうした現状を鑑み、担当所管に対しては当該地の所有者である国と協議しゲートまでのアプローチ道の整備を行っていただくよう提言したところです。

池子米軍家族住宅地区の一部が共同使用となり、このまちに残された素晴らしい自然環境に触れる機会を得られたわけですから、より多くの人たちが支障なく行けるようになればと思っています。



あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。



Tel / Fax: 046-871-7368
E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp